

鉄砲洲神社 素読論語 解説
(平成 24 年 1 月 13 日)

壬辰に関するお話

支部長から戴いた緑村吟詠会の 1 月特別号に藤田会長が書かれた物を読みました。ここに書いてある漢和辞典というのは、どの漢和辞典なのか考えていました。漢和辞典で一般に流布されているのは、筒野道明先生が書かれている漢和辞典、諸橋先生が書かれている大漢和辞典。こういうものを読まれる方は大体この二つではないかと感じます。

少し形を変えますと、安岡正篤先生の解釈をはじめとして、白河静先生の辞書や加藤常賢先生の辞書があります。その先生方の辞書をみますと、壬辰(みずのえたつ)の、壬という文字は「おもねる」、「はらむ」、「ごまをする」とあります。

ここには書いていませんが、辰は「たつ」で蜃気楼と云う意味が強く出ます。

私が壬辰のお話をさせて戴く時には、「壬辰は想像妊娠の年で、色々と期待が出てきますが、それが最終的にはことごとく外れてしまう年まわり」となります。

辰なので、天高く飛ぶと云うのもよいですけど、本来の辰は大蛤という意味ですので、蜃気楼で消え去るとなります。

政治経済でいいますと、色々な理想がどんどん打ち出されてくるけれど、結果として皆ことごとく期待外れで終わってしまう。政治家でいえば、人物が相当輩出して、色々な人材が色々なポストについて一見良さそうに見えるけれど、結果は全部駄目ではないかと感じます。

国家議員の数を減らす、公務員の給料を減らす、消費税も絶対上げないと言っていましたが、結果はみな流れています。国民にとって良さそうな話は出てくるけれど、結果的には駄目になる。自民党も消費税は反対すると言っていたが、この頃は昔に戻って消費税 10%と言いだしています。結果的には反対しないで賛成に回るでしょう。とにかく、良さそうな話で目くらましになるけど、最後はおかしくなってきます。

先ほど失業保険の話もありましたが、東北で生活保護を受給する人が増えています。東北は失業保険が終わったら、多勢の方々が生活保護に切り替わってしまう。生活保護も全体で 3・3 兆円超していると言いますので、大変な数字になっています。

皆が目くらましにかかっている間に、今年の暮れには、あれも外れこれも外

れて、結果的にはスタグフレーションというものが明確に見えてくる年だと思
います。スタグフレーションはデフレの中における物価高です。

収入はどんどん減り支出はどんどん増える年まわりですから、良さそうな話
に目くらましになって財布の紐を緩めると、おっかない話になるので財布の紐
はがっちり締めていた方がよいでしょう。

壬辰（みずのえたつ）は、龍という意味がありますので、どこかで衝撃が起
きると思います。

衝撃というのは、それぞれが、それぞれの立場で衝撃を受けることになりま
す。例えば日本の国全体で眺めて見ますと、この間も申し上げましたが、地震
の可能性です。

地震火山研究観測センターの教授がブログで、3月11日の地震と同じような
波形が北海道、東北、東京で出ていると公表していました。地震が起こるとし
たら、2月頃がもっとも怖いと巷では流れています。

今年はけっこう揺れると思います。ただ、皆さんがどこに居られるかによっ
て見方が違うと思います。寝ている時、車に乗っている時、歩いている時など
です。

この間スカイツリーを造っている大林組の担当常務 浦さんの話を聞いたの
ですが、東京タワーより高い所に第一展望台（365メートル）があり、鉛筆1
本でも落とすと下では大惨事になりますから、鉛筆から何から体に紐を結び付
けて作業していたそうです。

3月11日の大地震で揺れた時のビデオを見せて貰ったのですが、まだスカイ
ツリーの上には耐震装置が付いてない時だったので、かなり揺れていました。
一部の作業員は青くなって、バツリとうつ伏せになって必死に耐えていまし
た。地面が揺れると、上の365メートルでは大変な揺れの様です。

今年の地震対策は、ゆめ怠らない方がよいと思います。

この間の情報で、強毒型の鳥インフルエンザは、中国で人から人への感染が
寸前まで来ているそうです。世間では鳥インフルエンザの話は消えましたが、
実際の危険度は増していますので、今年は要注意ということで気をつけた方が
よいでしょう。

今年は色々な部分で理想が高ければ高いほど、落差がかなり凄まじいものが
来る。経済的なものもスタグフレーションで、今年の後半は不況下における物
価高という言い方で、後半マスコミが騒ぎだすという年まわりになっていると
思います。

今年は要注意の年ということで、今年の壬辰のご説明を終了致します。